

# 見学者 20万人達成

いわき市泉町の日産自動車いわき工場の見学者が四日、累計二十万人に達し、同工場入り口で記念品贈呈式が催された。

二十万人達成の見学者となったのは、市内の好間一小五年生六十四人と引率した教員。社会科見学学習の一環で工場を訪れた。

一行が入場すると、従業員がクラッカーを鳴らして祝福した。続いて、無人で動く部品運搬用の台車がサンタクロースの人形を乗せて登場。記念品のミニカーと一緒に運ばれ、

同工場は平成六年五月から見学者の受け入れを開始した。見学では、車のエンジンの製造工程などを学ぶことができる。



サンタクロースの人形と記念品を乗せた台車の登場を喜ぶ子どもたち

## 好間一小児童ら 見学20万人目に

日産いわき工場

日産いわき工場（泉町下川、野本克工場長）の見学者が4日午後、累計で20万人を達成し、記念セレモニーが同工場の1階エントランスホールで行われた。

福島民報 2015.12.6

記念すべき20万人目となったのは、社会科の見学学習で訪れたという好間一小（松本光司校長）の5年生64人と引率の教諭2人。待ち構えていた従業員たちの歓迎の拍手を受けながらホールに入ると不思議そうな表情を浮かべていたが、色どりの紙吹雪や風船が舞



い、自分たちが20万人目に乗せた、同工場内で使用していると知る全員びっくり。されている無人台車が登壇し、児童の代表4人に

累計20万人目となったことを知り、喜ぶ好間一小の児童たち

記念品のミニカーが贈られると笑顔で喜んだ。

渡辺玄輝（げんき）君（10）は驚きながらも「20万人目に来ることができて光栄です」とうれしそうなお表情を浮かべ、

近で見ることができなくて、本当に楽しみ」と目を輝かせていた。同工場によると、見学の受け入れはエンジンの生産を開始した平成6年から

で、震災により2カ月間ほど中断し、見学者数は約6000人に減少したものの、翌24年度には1万人に回復。20万人は22年目での達成となった。

いわき民報 2015.12.5